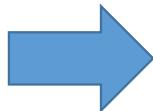


組合は直接的には生産者の所得向上を主たる目的とするが、地域、海域、河川の調整また連絡役も担っている。

## 地域との取組

大阪府による大阪の海のイメージについて平成26年に実施した府民インターネットモニター  
アンケートによると

どちらかといふと良いイメージ	20%
どちらかといふと悪いイメージ	56%
どちらともいえない	24%



まだまだ  
イメージが良く  
ない！！

### 新商品（加工品）

大阪湾の魚介類を知ってもらいたい、食べてもらいたいということから関連会社  
の大坂市漁協株式会社にて農林水産省6次産業推進課事業の総合化事業計画の認  
定を受ける。

以下組合、会社で受けた新商品開発に係る助成、補助事業

- ・近畿農政局 平成25年度6次産業化推進事業
- ・大阪府 平成27年度6次産業化ネットワーク活動交付金
- ・公益財団法人 水産物安定供給推進事業  
平成27年新商品開発事業  
平成28年新商品開発事業



# 加工品



しらすコロッケ



しらすコロッケカレー味

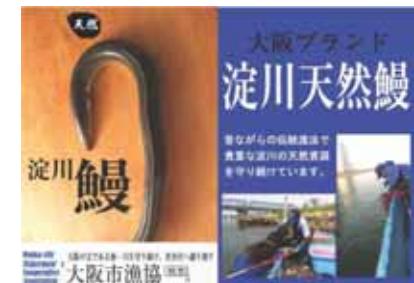


タココロッケ



たこ焼きコロッケ

淀川産天然うなぎ



大阪オイルサーディン



はもじや二天



干しカレイ



鰆きずし



淀川産しじみ



# 淀川ブランド化

淀川のイメージは非常に悪い。淀川の食を主としてブランド化していくことでまずはイメージを良くする。



日本経済新聞

朝日新聞

読売新聞

## 地域との取組

食の都大阪グランプリ  
～大阪市漁業協同組合賞～



各種イベントに参加



岸和田マルシェ



地域イベント（天保山祭り他）



市場と連携（木津朝市）



商店街活性化イベント  
(新世界商店街)

その他フィッシャーマンズフェスティバル、住吉大社初辰まいりなど

商談会



JTB主催体験  
漁業見学

淀川にて刺  
し網漁



H27,28,29JA農畜産物商談会

H27,28,29ジャパンシーフードショウ



H27,28,29大阪産商談会

啓発事業

# 大阪湾の漁業を継ぐ世代に発表

一般社団法人全国日本学生会、認定NPO法人シニアノボル大学校共催 2017年大阪シンポジウム	
<b>“水の都”大阪の海と歴史の未来を考える*</b>	
開催日時：平成29年1月23日（木）13時～17時	
開催場所：大阪府立高島館4F マルチホール（大阪府守口市高島町1丁目4-10）	
参加料：自由（講師の懇親会、高島館に上り事務費に別途算入ます。）	
主催の概要	
私たちの活動があることである心をそこにある生き物たちへの想いが大切に出来ることを中心、2011年3月11日に震災で大変な事で犠牲された日本人と被災地の人々に感謝と想いを込めてこの活動を行なうことになりました。水の都、大阪の海や周囲の自然を知り、近くで育てられたもの何でも、いつでも手に取れるから、ぜひ記憶に残る思想をもつて来る「海と陸の島」のつながりを、またお互いの想いを共有してきました。このような想いをもつて、実際に本高島館（大阪府立高島館4F）にて企画・運営するNPO法人レーベル自然大学が協力して、大阪の海と歴史に關注するイベントを今まで以上に開催することに意をしました。大阪の海の「大阪の海問題」と考える考え方をもとに考えます。	
I 構成部会（13時～13時10分）	高島館ナレッジ・海林園植物研究会研究会長 田中 光
II 基礎講演（13時10分～14時）	「高島館の歴史と大阪湾の海と歴史の未来を見える」 NPO法人高島館の歴史研究会 岩山 寛 著
Ⅲ パネル討論（14時～16時10分）	（コーディネーター 大阪府立高島館森林総合研究会水林研究会長 田下智 敏）
■議題選択1：大阪湾の歴史を深く学び（14時～14時30分）	（大阪府立高島館森林総合研究会水林研究会長 田下智 敏）
■議題選択2：イカナゴのくぎ漁を振りる（14時30分～15時）	（大阪府立高島館森林総合研究会水林研究会幹事会研究員 大美 博 哲）
■議題選択3：大阪湾の生物多様性（15時～15時30分）	（大阪府立高島館森林総合研究会水林研究会幹事会研究員 大美 博 哲）
IV 総合討論（16時10分～17時10分）	（大阪府立高島館4F）
開会セレモニー：一般社団法人 全国日本学生会事務局	
Tel : 028 (224) 8000	
Fax : 028 (222) 8009	
email : gakusui@poppy.ocn.ne.jp	

## 組合員による大阪湾、淀川、大和川清掃事業

## 今後の展望

大阪市は平成30年人口が271万人の大商業都市であり、市外からの観光客を含めると相当数の人が大阪市内に滞在している。このように大阪市の特徴は人が多いということである。また、夢洲には万博、IR構想があり、人が多いという特徴を活かすとともに地域と漁業が連携して地域発展に貢献していく事業を行っていく。

また、大阪市地先海域である大阪湾奥部は、淀川河口域であり栄養分など淀川の恵みを大阪湾全体に供給する大きな役割を担っている。大阪市、淀川のみならず大阪湾の漁業、生産性向上に向け広域的な組織を組み事業を行っていく。



2025年 国際博覧会を大阪・関西へ



OSAKA-KANSAI/JAPAN  
**EXPO 2025**

 World Expo 2025  
Candidate

いのち輝く未来社会のデザイン  
EXPO 2025 OSAKA-KANSAI JAPAN

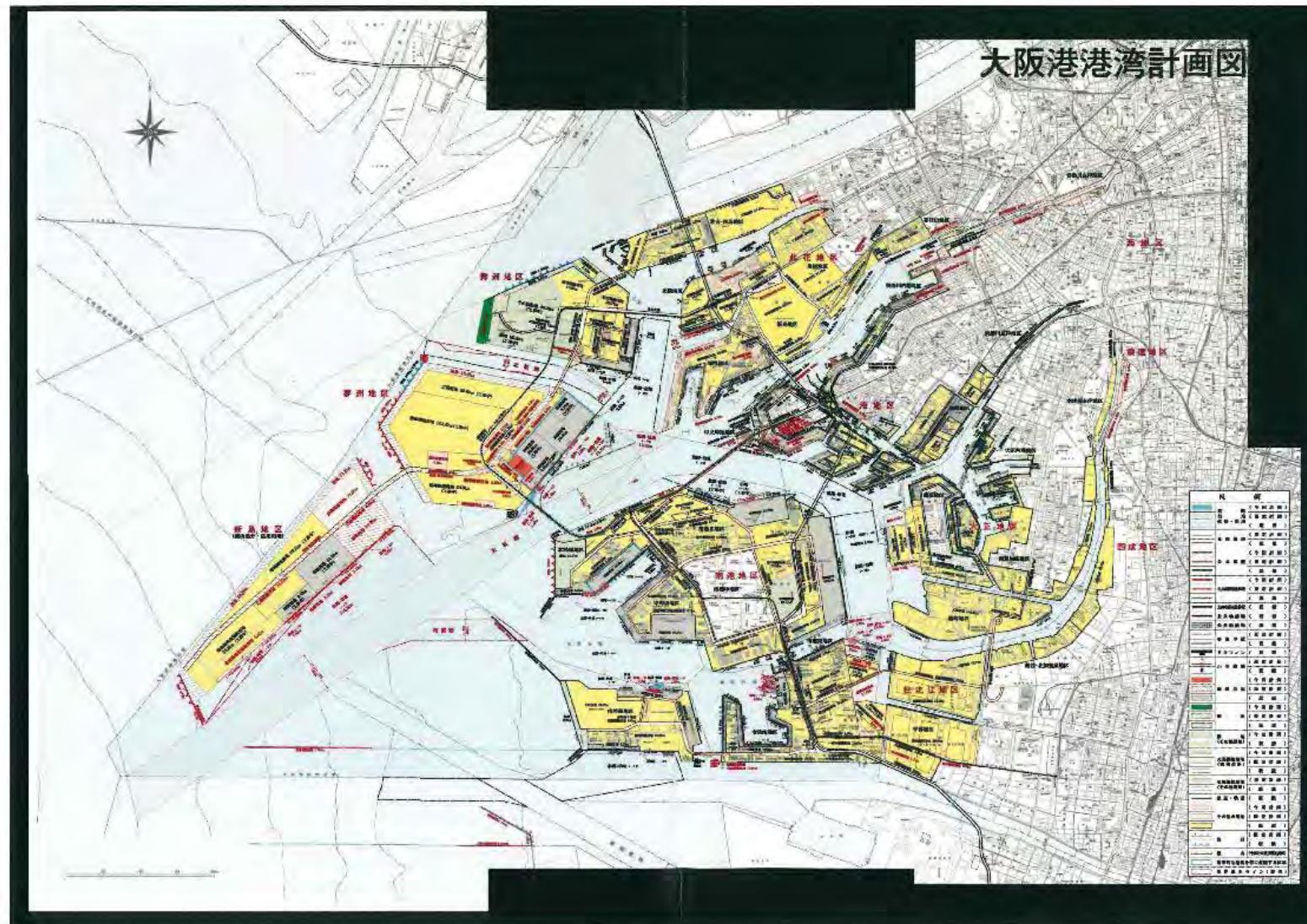
## 課題・目標

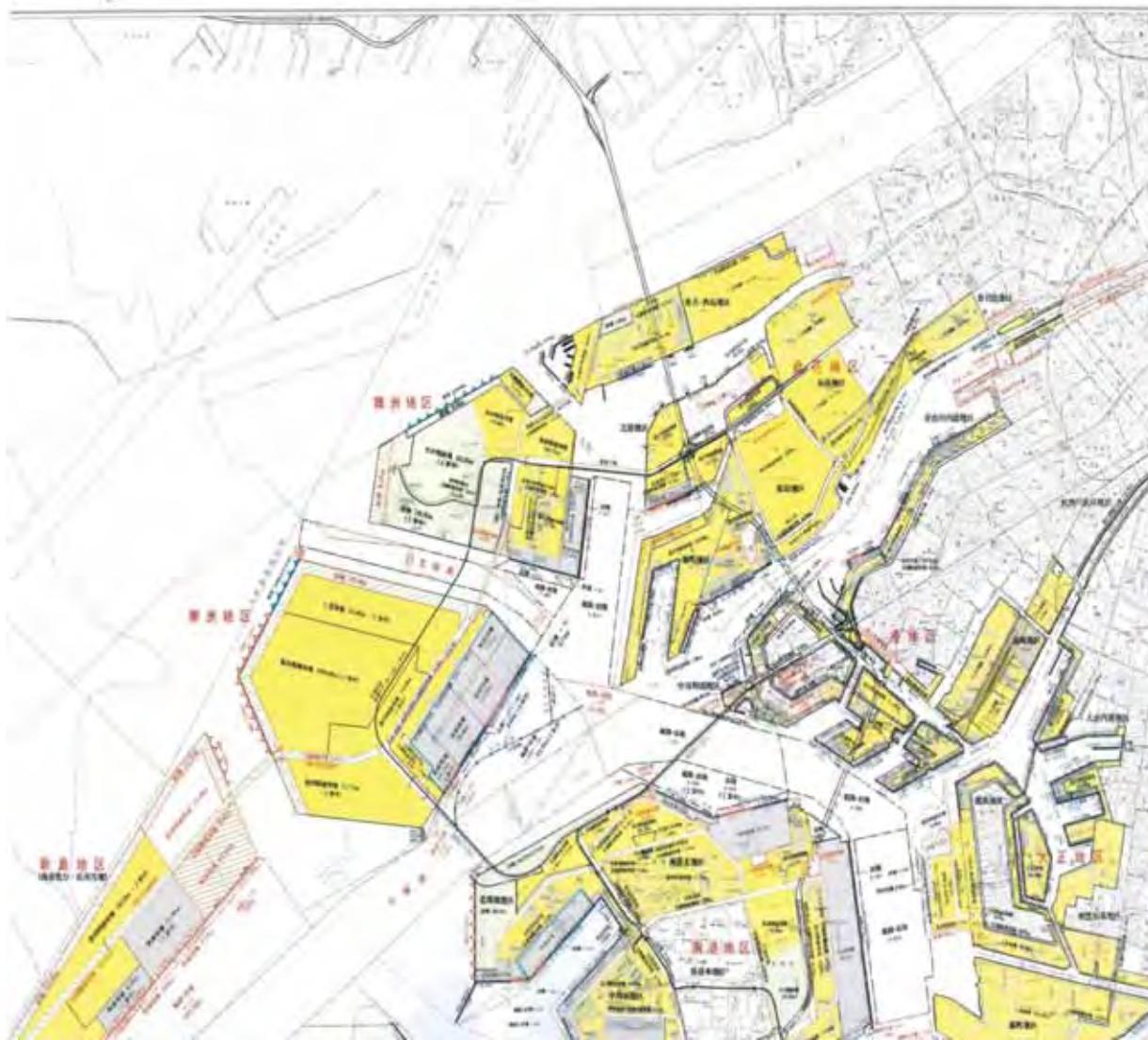
### 「都市型漁業再構築」

大阪港は港湾区域の為物流が主となり漁業などの一次産業は認識されていないのが現状である。幼稚魚の育成の場等大阪湾奥部、淀川河口は漁業生産上非常に重要な水域である。昔は漁業権があり漁業について主張はできたが、現在は港湾区域であるため漁業者の意見が通らないようになっている。そこで大阪港、港湾区域の一部の未利用地を規制緩和することにより自然な砂浜、干潟を創出し、生産可能な場にすることで、漁業生産性の向上、環境改善により生産者、地域としてメリットがある環境を再構築する。

- ・漁業就労環境の改善や大阪港、大阪漁業のイメージアップ  
　　淀川産しじみ、淀川産うなぎGI登録
- ・大阪港環境改善、干潟再生、幼稚魚育成の場の再認識  
　　淀川河口域生物調査
- ・大阪港に流れ込む淀川との連携  
　　一般社団法人淀川ブランド推進協議会連携、淀川上流域との連携
- ・漁業生産、流通の安定により観光や交流の場において漁業の利用促進を図る為の漁業生産拠点の整備
  
- ・食との連携  
　　割烹及び飲食店は大阪産、淀川産魚介類を食材として使いたい。流通の整備
- ・大都市という地域の特性を生かす為の行政、民間企業との連携  
　　規制緩和、民間企業とのビジネスマッチング

規制緩和について具体的に





大量の土砂を運んでくる淀川河口域、大和川河口域は港湾区域となっている。これらの河口域は干潟、幼稚魚の育成場等重要な生産場である。これらの港湾区域の未利用地を規制緩和することにより干潟、浅場を形成し様々な機関が管理するとともに、資源管理型漁業の中で持続可能な生産を目指す。

## 淀川河口域水深

